

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	博士(保健学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科卒業、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、2019年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程後期修了				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教				
所属学会(役職)	日本理学療法士学会(ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門運営幹事)、埼玉県理学療法士会(新人教育部員)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(学会誌編集委員)、専門リハビリテーション研究会、日本母性衛生学会(査読員)、臨床歩行分析研究会				

### 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	ウィメンズヘルスケアの現状-理学療法研究からの取り組み-		第37回関東甲信越ブロック理学療法学会、宇	○須永康代	2018.9
2	骨粗鬆症と転倒の予防教室への参加年数が骨密度と体力に及ぼす影響		第20回日本骨粗鬆症学会、長崎市	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、荒木智子、遠藤直人	2018.10
3					
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	妊娠中の姿勢と動作様式の個別的变化の成因分析を画的転倒予防プログラムへ導く研究(研究代表者)	2015.4~2019.3		
2	埼玉県立大学奨励研究費(A)	地域在住女性における尿失禁と脊柱・骨盤アライメントとの関連性とセルフエクササイズの効果の検証	2018.4~2019.3		
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達障害理学療法学	2018.4~2018.7	運動発達検査や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。		
2					
3					

(2) 演習				
1	発達障害理学療法実践テュートリアル	2018.11～2019.1	実際の症例情報を提示し、学生がグループディスカッションを行った。さらに理解を深めるためにディスカッション内容についてプレゼンテーションを行い理解を深めた。	
2	ウィメンズヘルス理学療法学	2018.11～2019.1	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。	
3	理学療法セミナー(OSCE1)	2018.7	客観的臨床能力試験(OSCE)を通して、実習に向けた問診や医療面接技術の指導を行った。	
4	理学療法セミナー(OSCE2)	2018.4	客観的臨床能力試験(OSCE)を通して、実習に向けた理学療法評価やプログラム立案・実施のための指導を行った。	
5	理学療法特別演習	2018.10～2018.2	当該科目の調整・運営および発達障害理学療法学分野における国家試験の過去の出題傾向をふまえた演習を行い、国家試験に向けたサポートを行った。	
(3) 実習				
1	発達障害理学療法実習	2018.4～2018.7	ゲストスピーカーとともに、正常発達、発達障害児における理学療法評価およびアプローチの実践について授業を行い、理解を深めた。	
2	運動学実習	2018.4～2018.7	動作分析、歩行分析について、実習を通して手法を学び、生じた結果に対する考察により理解を深めるよう指導を行った。	
3	臨床教育実習Ⅰ	2018.2～2018.3	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。	
4	臨床教育実習Ⅱ	2018.9～2018.10	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
5	臨床教育実習Ⅲ	2018.4～2018.6	4年次生を対象に8週間の総合実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
6	臨床教育実習Ⅳ	2018.6～2018.7	4年次生を対象に5週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。	
7	ヒューマンケア体験実習	2018.9	施設担当として実習施設との調整を行い、円滑な実習を実施できるよう努めた。また、事前オリエンテーションや4日間の実習を通して、学生が積極的に学びを深められるよう指導を行った。	
(4) 論文指導				
1	学部卒業研究	2018.4～2018.12	6名	
2				
3				
(5) その他				
1	4年次生副担任	2018.4～2019.3	ガイダンスや個人面談を通して、学生生活の指導を行った。	
2	ゼミ担当	2018.4～2019.3	1～4年次生を対象にゼミ活動を通して学生間の交流を図ることができた。3・4年次のゼミ生には、卒業研究に向けた研究指導を行った。	
3	PTOT合同就職説明会	2018.8	県内施設を対象とした就職説明会について、作業療法学科と共同開催を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	第20回日本母性看護学会学術集会 市民講座	日本母性看護学会学術集会	いつまでもいきいきと、美しく～加齢に伴う、女性のケア～	2018.6
2	埼玉県理学療法士会南部ブロック公開講座	埼玉県理学療法士会	産前・産後のボディケア	2018.7
3	埼玉県立大学 理学療法学科臨床教育実習指導者講習会	理学療法学科	ウィメンズヘルスの視点から見た理学療法の実践	2018.8
4	市民講座	さいたま岩槻病院	尿失禁について～骨盤底筋のはたらき～	2018.9
5	高校出張講座	川口北高校	理学療法とは	2018.1
6	第2回彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム	埼玉大学	生涯を通じた女性の健康支援～産前・産後、更年期・老年期の運動学的解析	2018.12
7	彩の国いきがい大学熊谷学園 授業	彩の国いきがい大学熊谷学園	高齢者の身体と運動	2019.2
8	第60回マタニティフィットネスコンベンション	日本マタニティフィットネス協会	妊娠・出産期の身体の変化に合わせたエクササイズ～姿勢・動きから考えるケア～	2019.2

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌編集委員		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		